



(主)真岡上三川線

真岡IC

北関東自動車道

真岡南バイパス

一般国道408号 真岡南バイパス



令和3年**3月20日**
供用開始(暫定2車線)

栃木県
真岡土木事務所



全体概要

「常総・宇都宮東部連絡道路」は、常磐自動車道谷和原ICから東北自動車道矢板ICを結ぶ延長約100kmの地域高規格道路※として整備を進めています。

本道路の整備により、宇都宮市を中心とする栃木県央・北部地域集積圏と小山市を中心とする小山・下館地域集積圏及び茨城県の土浦・鹿島地域集積圏との広域交流の促進や、他の高規格幹線道路を介して、世界へ向けた栃木県の先導的技術の発信等が期待されています。

常総・宇都宮東部連絡道路の主要区間を形成する国道408号バイパスにおいては、これまでに真岡バイパス・真岡北バイパス・真岡宇都宮バイパスが完成4車線で開通されるとともに、宇都宮高根沢バイパスの一部区間においても暫定2車線で開通させ、地域高規格道路としての機能強化を図ってきました。

また、真岡南バイパスにおいては、整備効果を早期に発現させるため、道路ネットワーク構築を優先することとし、暫定2車線で整備を進めてきたところであり、令和3年3月20日に供用を開始しました。

今後は、未供用区間を早期に整備し、全線の開通を図るとともに、引き続き暫定2車線区間の4車線化整備を進め、地域高規格道路としての機能強化をより一層図っていきます。

※地域高規格道路とは

高規格幹線道路(高速自動車国道など)と一体となって国土の骨格となる道路網を形成し、地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進等に資する重要な道路です。

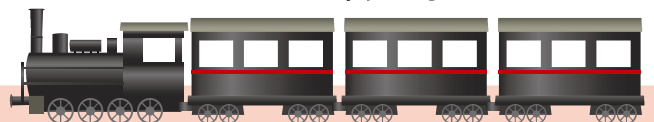


■凡例

地域高規格道路	供用区間	
	整備区間	
	調査区間	
	無指定	



いちごとSLの街“もおか”



真岡南バイパス



事業概要

真岡南バイパスは、真岡バイパス及び真岡北バイパス等と連携し、地域高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成するバイパス整備事業です。

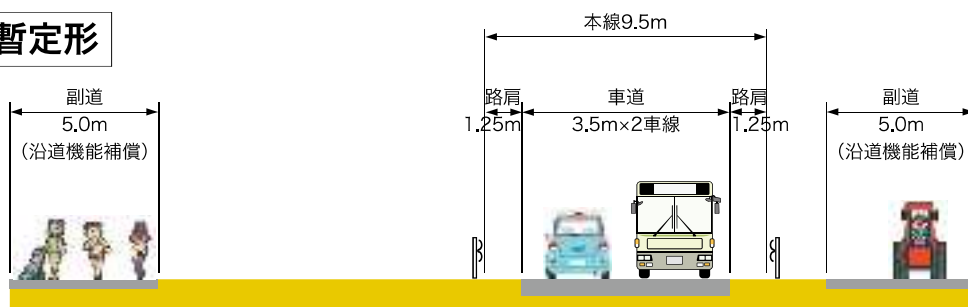
本バイパスの整備により、「ものづくり県」である本県の成長をけん引する鬼怒川左岸地域における南北交通軸が形成され、本県の広域道路ネットワーク形成の促進や高速道路ICへのアクセス強化が期待されます。

計画概要

事業区間	真岡市寺内 ^{てらうち} ～真岡市長田 ^{ながた}	全体延長	L=3,100m	道路幅員	W=18.5m (車線3.5m×4車線)
事業期間	平成26年～令和7年度(予定)	事業主体	栃木県	全体事業費	約140億円

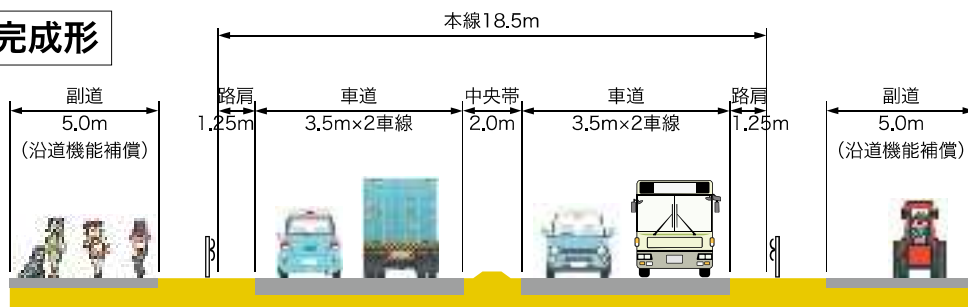
標準横断面図

暫定形



※主に東側車線を優先整備

完成形



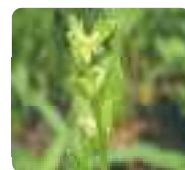
自然との共生



サシバ
(絶滅危惧Ⅱ類)

鬼怒川河川敷や河岸段丘など豊かな自然に囲まれた真岡南バイパスの周辺地域には、絶滅危惧種に指定される「サシバ」や「コイヌガラシ」など、貴重な動植物が生息しています。

事業の実施に際しては、本事業の計画路線付近における繁殖状況や生育状況をモニタリングし、その結果に応じて適切な環境保全措置を講じるなど、これら貴重な動植物の保護に努めています。



コイヌガラシ
(準絶滅危惧)

鬼怒川左岸地域は本県産業活動の一大拠点

鬼怒川左岸地域には、真岡第一～五工業団地や内陸最大級規模の清原工業団地をはじめ、県内屈指の工業団地が集積しています。工業団地群の従業員は5万1千人、製造品出荷額等は県内総額の約4割を占めるなど、本県の製造業の中核を担っています。

鬼怒川左岸地域の工業団地群の概要

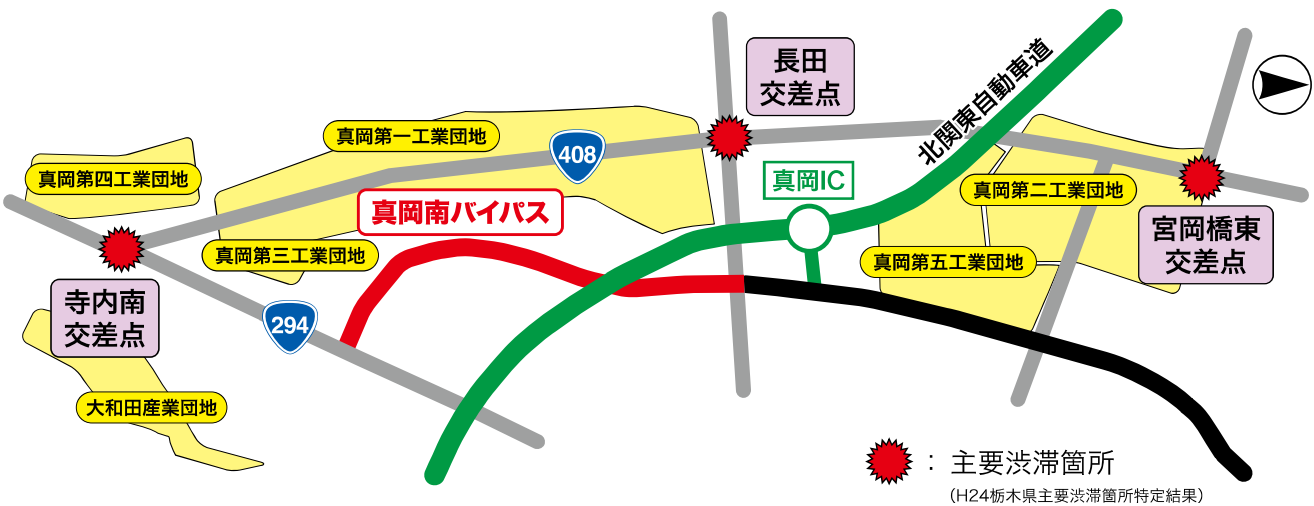
- ・従業員数 5万1千人
- ・製造品出荷額等 2.1兆円（県内総額5.3兆円の約4割）

※工業統計(2019)、芳賀町工業団地管理センターからの提供による



真岡市内の道路では慢性的な交通渋滞が発生

真岡市内の工業団地群への通勤・物流車両の集中などにより、主要渋滞箇所が連続するなど慢性的な渋滞が発生しており、それらの交通を適切に分散させる対策が必要です。



寺内南交差点



長田交差点



宮岡橋東交差点

一般国道 408号 真岡南バイパス



真岡南バイパス 起点部



真岡南バイパス 中間部



真岡南バイパス 終点部



真岡バイパス 真岡IC周辺



真岡北バイパス



真岡宇都宮バイパス

- 凡例
- : 一般国道408号バイパス 事業中
 - : 一般国道408号バイパス 供用中
 - : 一般国道 — : 県道
 - : 工業団地 : 公園・緑地
 - : 主要渋滞箇所

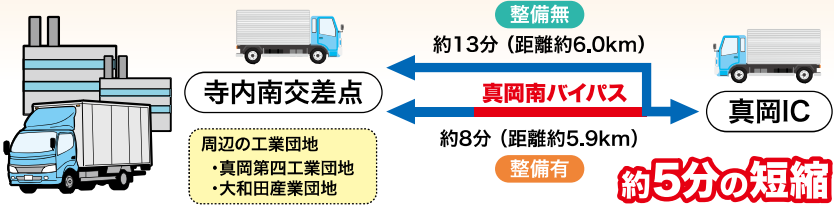
※この地図は、国土院発行の25000分の1地形図を使用したものです。

真岡南バイパスの整備効果

慢性的な渋滞の緩和、アクセスの向上による産業活性化、
緊急時の道路ネットワークも強化し、
環境にやさしい快適で活力ある暮らしへ。

1 鬼怒川左岸地域の産業を支援

沿線の工業団地から真岡ICへの所要時間が約5分短縮されます。鬼怒川左岸地域に集積する工業団地への輸送効率を向上させ、産業活性化を支援します。



※整備無は実測、整備有は推定による

2 円滑な道路交通の確保

本バイパスの整備により、周辺交通の分散を図ることで、慢性的な交通渋滞が解消され、周辺道路を含めた円滑な道路交通が確保されます。

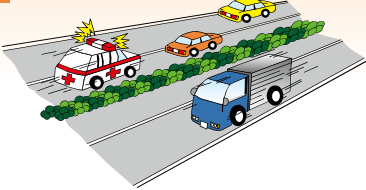
交通円滑化による社会的な便益は、約262億円※になるものと推計されます。

※R2将来交通量推計結果による(供用後50年間の推計値)



便益
約262億円

3 災害に強い道路ネットワークの強化



第1次緊急輸送道路である現道の国道408号を補完し、緊急輸送道路ネットワークの代替性・多重性を確保することで、災害に強い道路ネットワークを強化します。

4 沿道環境の改善

現道の交通がバイパスに転換することによって、渋滞緩和や走行性が向上し、二酸化炭素(CO₂)、窒素酸化物(NO_x)等の大気汚染物質の排出が軽減され、沿道環境の改善が図られます。



年間CO₂、NO_x排出量

CO₂



削減されるCO₂

2,000tは東京ドーム

約40個に相当

NO_x



削減されるNO_x

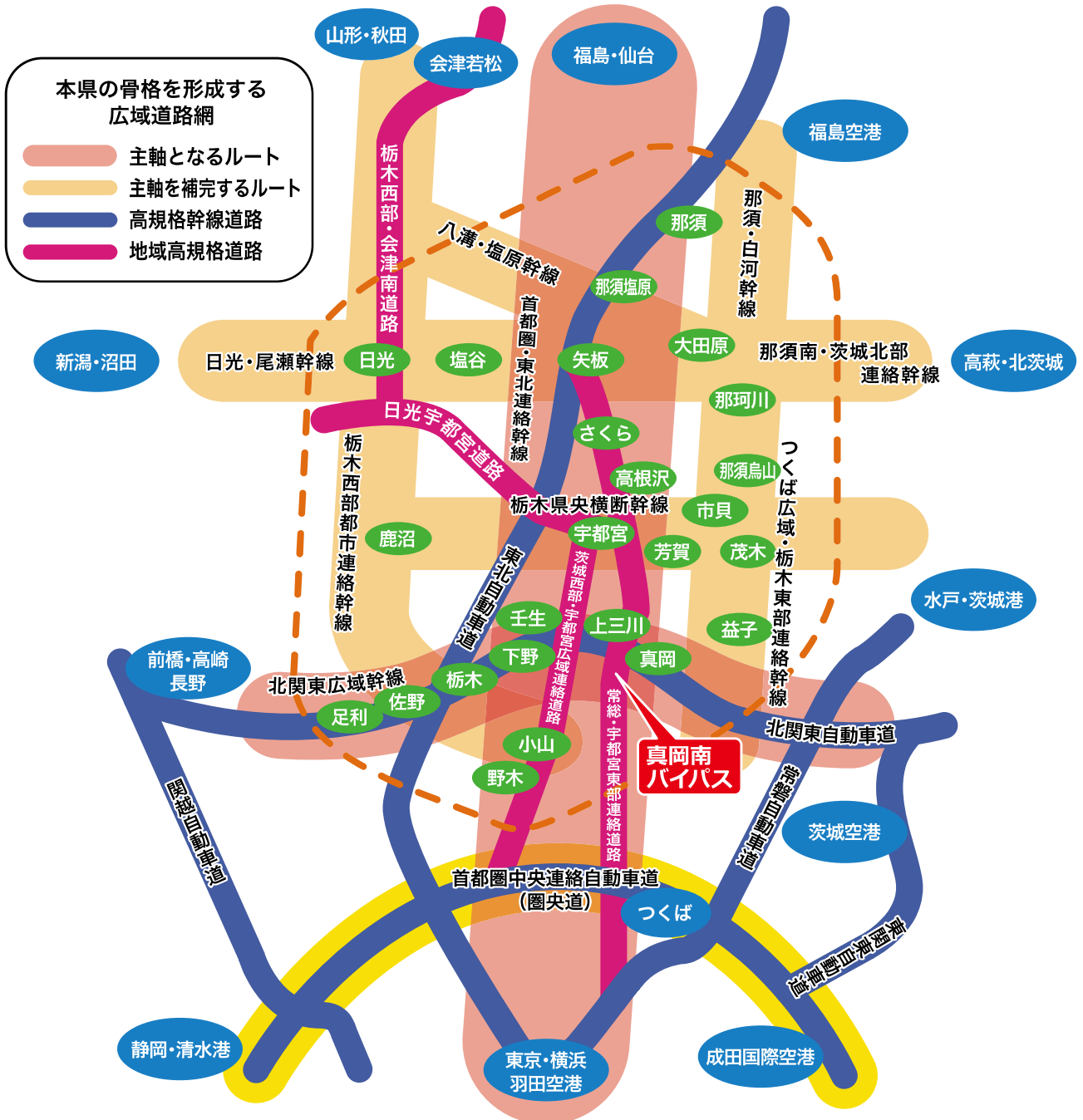
10tは大型車トラック

約80台に相当

※H25将来交通量推計結果による

広域道路網マスタープラン

本県の骨格を形成する高規格幹線道路を中心として、特に重要である格子状(グリッド型)の広域幹線道路網の重点的な整備を推進することで、県全体に整備効果を波及させていきます。



広域道路網マスタープランは、広域道路網整備の将来像を図示したものです。



お問い合わせ先
栃木県 真岡土木事務所
 〒321-4305 栃木県真岡市荒町116-1
 TEL. 0285-83-8306 FAX. 0285-83-8319
 URL. <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h54>
 E-メール moka-dj@pref.tochigi.lg.jp